

ダカールラリー2023 市販車部門10連覇！

～ランドクルーザー300、デビューウィン～

トヨタ車体株式会社（本社：愛知県刈谷市 代表取締役・社長：増井 敬二）のラリーチームであるチームランドクルーザー・トヨタオートボデー（以下、TLC）は、2022年12月31日から2023年1月15日に開催された『ダカールラリー2023 サウジアラビア』市販車部門で、No.250のバソ/ポラト組が優勝、No.246の三浦/リシトロイシター組が準優勝し、ワン・ツーフイニッシュで市販車部門10連覇を達成しました。

この結果により、TLCは市販車部門23回目の優勝を果たし、ランドクルーザー80からスタートした優勝のバトンをランドクルーザー300につなげ、新たな歴史のスタートとすることができました。TLCのラリー活動を支えていただいているパートナー企業様をはじめ、ファンの皆様に感謝申し上げます。

当社は今後も、ダカールラリーを起点とした「もっといいクルマづくり」に挑戦し続けます。

【今大会の結果】

| ゼッケン No. | 車両 | ドライバー | ナビゲーター | 順位 | |
|-------------|-----------------|-------------|---------------|-------|------|
| | | | | 市販車部門 | 総合*2 |
| 250 | ランドクルーザー 300 | ロナルド・バソ | ジャン・ミッシェル・ポラト | 1 | 107 |
| 246 | GR SPORT | 三浦 昂(あきら)*1 | ローラン・リシトロイシター | 2 | 108 |

*1 トヨタ車体社員(総務部広報室所属)

*2 1月16日11時時点



【今大会のルートおよびTLCの戦況】

今回で4年目となる中東サウジアラビア王国での開催。期間（16日間・15ステージ）、総走行距離（8,902km）ともにサウジアラビア大会史上最長の戦いとなりました。第1ステージのループコースでは246号車が転倒。続く第2ステージでは、ゴール直前で250号車がステアリング系のトラブルに見舞われましたが、メカニック陣が夜を徹して修復し、翌朝には走行可能になりました。第5ステージでは246号車に突然の駆動系トラブルが発生し、コースの一時離脱を余儀なくされました。

例年以上に険しく長いコース設定により試練が連続しましたが、クルーの粘り強い走りやメカニックを含めたチームワークで乗り越え、TLCは市販車部門1、2位をキープし、前半戦をフィニッシュしました。

中間日には、メカニックが入念な点検整備を行い、後半戦に備えて車両を徹底的にリフレッシュしました。



後半戦、第10ステージでは今大会最大の難所「エンプレクオーター」と呼ばれるサウジアラビア南東部の大砂漠地帯へ。TLCはランドクルーザー300の走破性の高さを活かし、砂丘ステージをほぼノートラブルでクリア。息つく間もなく、部品提供やメカニックの整備ができないマラソンステージとなる第11・12ステージに突入。今大会最大の砂丘に対し、空気圧を落としながら慎重にラリーを進め、250号車にエンジンベルトのトラブルが発生するも、速やかに復旧させてクリアしました。続く第13ステージでは、250号車がターボトラブルでコースを離脱しましたが、メカニックの懸命な修復により、第14ステージでは順調な走りを見せ、無事2台揃ってゴールしました。

ランドクルーザー300で初参戦した今大会は、幾多のトラブルに直面しましたが、「何としてもランドクルーザー300で優勝を日本に持ち帰る」というチーム共通の思いと、賢明なマネジメントにより、ワン・ツーフィニッシュでデビューウインを飾りました。

【コメント】

◆トヨタ車体 代表取締役・社長 増井 敬二

ランドクルーザー300の初参戦をデビューウイン＆市販車部門10連覇で飾ることができました。いつもTLCを支えてくださっているパートナー企業の皆さま、応援して下さるファンの皆さま、ランドクルーザーに関わるすべての皆さまに感謝を申し上げます。ラリー序盤から、数々のトラブルに見舞われ、一時はダメかと思う程、厳しい大会でしたが、必ず2台そろってゴールしてくれると信じていました。現地でゴールの一報を聞きTLCメンバーと合流した時は喜びがこみ上げました。TLCメンバーに「おめでとう。そしてありがとう」を伝えたいと思います。今回新型ランドクルーザーで参戦しましたが、ランクルの代名詞でもある「どこへでも行き、生きて帰ってこられるクルマ」であることが証明できたことは、ランクルを生産する会社の誇りにも繋がり、大変うれしく思います。当社はこれからも、ダカールラリーを通じた「もっといいランクルづくり」を進めてまいりますので、引き続きご支援・ご協力をお願いいたします。

◆チーム代表 本多 篤（トヨタ車体 コーポレート本部 領域長）

サウジアラビア大会史上最長期間・走行距離という、肉体的にも精神的にも負担が大きい中で「ランドクルーザー300で10連覇！」をキーワードに、心をひとつに戦ってくれたチームメンバー。予期せぬトラブルに見舞われても、1人ひとりが役割を果たし、互いを気遣い・励ましあい、次のステージに立ち向かうチームワークがあつてこそ、市販車部門10連覇を成し遂げることができたと思います。まずは、お疲れ様と心からのありがとうを伝えたいです。ランドクルーザー300での初参戦ということで、そのポテンシャルに対し、世界中のランクルファンの皆さまからの注目度も高い大会でした。その期待に応えるかのように、とくに砂丘ではパワーを発揮し、ワン・ツーフィニッシュを果たせて心から安堵しています。新型コロナウイルスの影響も色濃く残る中、スムーズな大会運営に携わってくださった関係者の皆さま、ご声援いただいた皆さまに感謝申し上げます。

◆チーム監督 角谷 裕司（トヨタ車体 総務部広報室 社員）

ランドクルーザー300デビューウィン、2台そろってのワン・ツーフィニッシュ、市販車部門10連覇という今大会での目標をすべて達成することができて心からうれしいです。メカニックは、ラリー車がダメージを負って戻ってきても、次の日にはまた全力で走れるように夜を徹して整備してくれました。ドライバーとナビゲーターは、メカニックの思いに応えるべく、クルマの限界に挑戦した走りを見せるなど、それぞれが自分に与えられた仕事を全うしてくれました。第1ステージから不慮の転倒に見舞われるなど、2台ともに完走が危ぶまれるトラブルも発生しましたが、チーム全員で意見を出し合いながら、困難な局面を乗り越えることができました。改めて、このような強力なチームワークを持つチームの一員であることを誇りに思います。ラリー期間中、日本からもたくさんの方の応援メッセージをいただき本当にありがとうございました。

◆No.250 ドライバー ロナルド・バソ

市販車部門10連覇という記念すべき節目に、優勝というかたちで貢献できて大変うれしく思います。新型車での参戦ということで、クルマのポテンシャルを發揮できるかどうか緊張していましたが、段々とランドクルーザー300と呼吸が合っていくのを感じながら走ることができました。前半戦はステアリングトラブルなどはあったものの比較的順調に走っていましたが、後半戦ではコースを一時離脱せざるを得ないターボトラブルに見舞われ、精神的にも体力的にも苦しい時間がありましたが、メカニックやスタッフのサポートのおかげで最後までゴールを目指すことだけに集中することができました。こんなに素晴らしいクルマで、素晴らしい仲間とともにラリーに参戦できたことをうれしく思います。

◆No.250 ナビゲーター ジャン・ミッシェル・ボラト

「ワン・ツーフィニッシュで10連覇」することができて、今は達成感に満ち溢れています。悪天候や砂煙で視界が遮られる中でも、クルマへのダメージを最小限に抑えられる道を選択する必要があり、今までダカールラリーを経験してきた中でもナビゲーションの難易度が高いコース設定でした。競技中、数々のスタックやパンクに見舞われましたが、「ワン・ツーフィニッシュで10連覇」を合言葉に2台でサポートし合いながら前に進み、また、ピバークではメカニックも完璧なサポートを行ってくれ、過酷な大会だったからこそチームの結束力が高まったように感じました。このチームの一員として、ダカールラリーに挑戦できたことを心から誇りに思います。

◆No.246 ドライバー 三浦 昂（トヨタ車体 総務部広報室 社員）

ランドクルーザー300という新しい仲間とともに、「ワン・ツーフィニッシュで10連覇」することができて、まずは安堵しています。開発から携わったランドクルーザー300によるダカールラリー参戦が決まってから、1年間海外ラリーへの参戦などを通してラリー車を作りこんできました。本音を言えば、自分の手で優勝をつかみ、10連覇を成し遂げたかったです。厳しいコースに新型車で挑む難しさを改めて実感する大会となりました。自分にとっては14回目のダカールラリー参戦でしたが、これまででトップクラスに完走自体が危ぶまれるほどの厳しいコースだったと思います。今回の経験を糧に、これからもチーム一丸となって「もったいいクルマづくり」に取り組んでいきたいと思いますので、引き続きTLCへの応援をよろしくお願いいたします。

◆No.246 ナビゲーター ローラン・リシトロイシター

ワン・ツーフィニッシュでゴールを迎えることができて本当によかったです。序盤からクルマを傷めてしまったので、完走できるか少し不安でしたが、中間日にメカニックが完璧にリフレッシュしてくれたおかげで、後半は不安なく前に進むことができました。また、今回のコースは、固い路面や高さのある砂丘など、例年以上にナビゲーションもドライビングも難しい場面が多く、ランドクルーザー300のポテンシャルがなければ乗り越えられなかったように感じます。TLCとランドクルーザー300の挑戦を応援してくださった皆さま、ありがとうございました。

(参考1) 参加台数と完走台数

(1月16日11時時点)

| 部門 | 参加台数 | 完走台数 |
|--------------------------------|------|------|
| オート部門 (市販車・改造車・ライトウェイトヴィークル*3) | 159 | 123 |
| トラック部門 | 55 | 22 |
| モト部門 (オフロードバイク) | 121 | 80 |
| クアッド部門 (1人乗り4輪バギー) | 18 | 10 |
| ダカールクラシックカー | 88 | 80*4 |
| 合計 | 441 | 315 |

*3 SSV(サイド・バイ・サイド・ビークル)と呼ばれる小型の2人乗り4輪バギーのカテゴリ

*4 第14ステージは未走行

(参考2) 過去の戦歴

| 開催年 | '95-'04 | '05 | '06 | '07 | '08 | '09 | '10 | '11 | '12 | '13 | '14 | '15 | '16 | '17 | '18 | '19 | '20 | '21 | '22 | '23 |
|------|--|-----------------|----------|-----------------|-----------------|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----------------|
| 使用車両 | ランドクルーザー 80('95-'98) ランドクルーザー100('99-'04) | ランドクルーザー 100 | | ランドクルーザー 200 | | | | | | | | | | | | | | | | ランドクルーザー 300 |
| 成績 | 市販車部門 ディーゼルクラス優勝 7回 | 市販車部門 優勝 | 大会 中止 | 市販車部門 優勝 | 市販車 部門 2位 | 市販車部門 優勝 | | | | | | | | | | | | | | |
| 備考 | アラコとして参戦 | トヨタ車体として参戦 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

6連覇 10連覇

世界のくらしに 笑顔届けたい

